

## 基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金  百万円  
 研究者数  名 実用化数  件

窓口 地域連携推進センター  
 担当者 神田 英嗣  
 TEL 0977-86-6666  
 Email e-kanda@nm.beppu-u.ac.jp  
 産連HP <https://www.beppu-u.ac.jp/research/>  
 シーズDB

## 外部資金

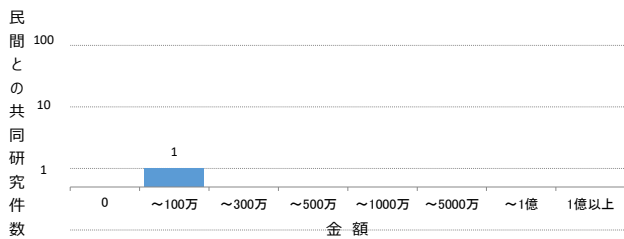
科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
14,690	千円	17	6,661

間接経費割合		株式の保有		新株予約権の保有	
20%以上25%未満		有	無	有	無

共同研究	2017年度		2018年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	1,700	5	420	2	位
民間企業のみ	0	0	300	1	位
大企業	0	0	0	0	位
中小企業	0	0	300	1	位

※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの

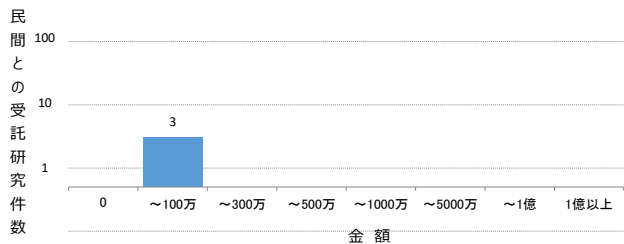
件数



受託研究	2017年度		2018年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	10,070	21	6,141	16	位
民間企業のみ	1,048	2	1,566	3	位
大企業	0	0	0	0	位
中小企業	1,048	2	1,566	3	位

※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの

件数



## 産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署		実務者当たり研究者数				
実務担当者数	1 名	130				
専門家の配置	弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他					

※専門家配置している場合は、赤色で表示されます。

産学連携業務分担	産連本部	他部署	外部委託
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)		○	
共同研究の進捗管理とフィードバック			
企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

※該当する業務は、赤色で表示されます。

## 特許出願・活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者
	未設定	
特許出願件数	1	0.008
特許保有件数	0	0.000

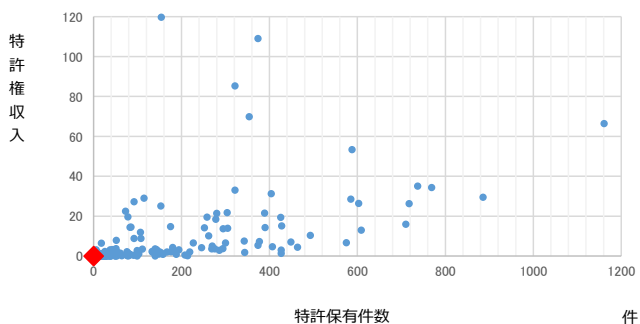
不実施補償の取扱
契約雛形の条項に従う
不実施補償を求めない場合がある
原則、不実施補償は求めない
その他

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	0	

出願数上位技術分野 (2018年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学・獣医学; 衛生学	1

百万円



## その他の体制整備

URA		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

### 各種規程の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

### 産学連携へのインセンティブ

インセンティブ設計あり	インセンティブ設計なし
-------------	-------------

### クロスアポイントメントの実績（人）

	受入	派遣
大学・民間企業以外		
民間企業		

クロスアポ規定	有	無	企業とのクロスアポ	可能	不可
---------	---	---	-----------	----	----

## ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	0	社	インキュベーション施設
相談窓口	有	無	支援ファンド
有	無	有	無
有	無	有	無
設立ポリシー・推進計画	支援総額（千円）		部屋数
有	無		件
			利用件数
			件

## 産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会

イベント名	実施時期

## 組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した1000万円以上の共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

分野横断型共同研究	0	件	平均(目安)交渉期間	6ヶ月以上9ヶ月未満
-----------	---	---	------------	------------

### ■ 組織的産学連携活動の取組事例

### ■ 産学連携活動の主な実用化事例

「別府温泉水あまざけ」の商品化	
概要	図・写真・データ
<p>・この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題</p> <p>大分県別府市は温泉の源泉数、総湧出量ともに日本一である。この豊富な資源を活用したご当地お土産の開発。（地方創生）</p> <p>・成果</p> <p>BEAMS JAPANのバイヤーのアドバイスを受けながら、地元資源を活用したご当地お土産の研究を行い、開発・販売に至った。これに伴い、温泉という資源が現地ですぐに活用できるものだけでなく、様々なものに転用できる可能性を見出した。</p> <p>・実用化まで至ったポイント、要因</p> <p>民間と自治体の企画に学生自身が興味を持ち、積極的にアイデアを出し、開発に関わったこと。また実用化までの環境（設備・地元酒蔵等）が整っていたこと。</p> <p>・研究開発のきっかけ</p> <p>ビームスと別府市のコラボレーションプロジェクト「BEAMS EYE on BEPPU」を通じて、「あたらしいみやげもの」開発事業の公募があり、酒造りに関心のある本学食物栄養学科 学部発酵食品学科の学生が興味をもったことがきっかけとなった。</p> <p>・民間企業等から大学等に求められた事項</p> <p>これまでにない別府らしいお土産にすること。別府を代表するようなお土産にすること。</p> <p>・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性</p> <p>温泉水を仕込み水に用いたことで、これまでにない新しい風味の甘酒になった。使用したあまざけは甘酒でありながら子供から大人までが楽しめるノンアルコールで製造した。</p>	<p>図・写真・データ</p>  <p>・ファンディング、表彰等</p> <p>・参考URL</p> <p><a href="https://www.beppu-u.ac.jp/topics/course/ferment/2018/006695.php?fbclid=IwAR2qZH81y1988IMo-Zy4yYFhRU_a52ZlqeHAEojWo-CC2h3D6P_OilSjWD68">https://www.beppu-u.ac.jp/topics/course/ferment/2018/006695.php?fbclid=IwAR2qZH81y1988IMo-Zy4yYFhRU_a52ZlqeHAEojWo-CC2h3D6P_OilSjWD68</a></p>

## 基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金  百万円  
 研究者数  名 実用化数  件

窓口 地域連携センター  
 担当者 大貫智之  
 TEL 029-232-2652  
 Email renkei@tokiwa.ac.jp  
 産連HP  
 シーズDB

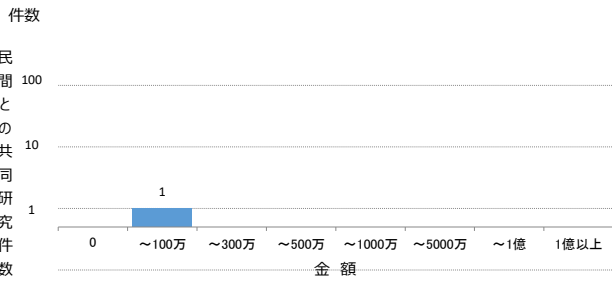
## 外部資金

科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
千円			0

間接経費割合		株式の保有		新株予約権の保有	
間接経費の割合を定めていない		有	無	有	無

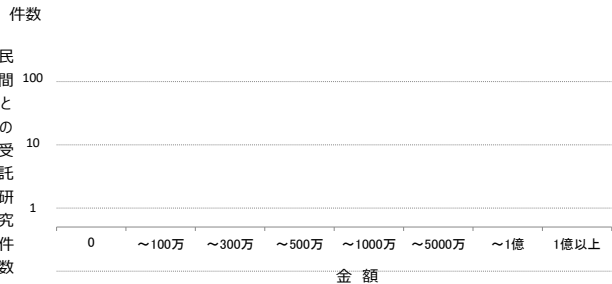
共同研究	2017年度		2018年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	216	1	324	1	位
民間企業のみ	216	1	324	1	位
大企業	216	1	324	1	位
中小企業	0	0	0	0	位

※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの



受託研究	2017年度		2018年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体			0	0	位
民間企業のみ			0	0	位
大企業			0	0	位
中小企業			0	0	位

※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの



## 産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署		実務者当たり研究者数			
実務担当者数	3 名	42			
専門家の配置	弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他				

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

産学連携業務担当	産連本部	他部署	外部委託
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)			
共同研究の進捗管理とフィードバック			
企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

※該当する業務は、赤色で表示されます。

## 特許出願・活用実績

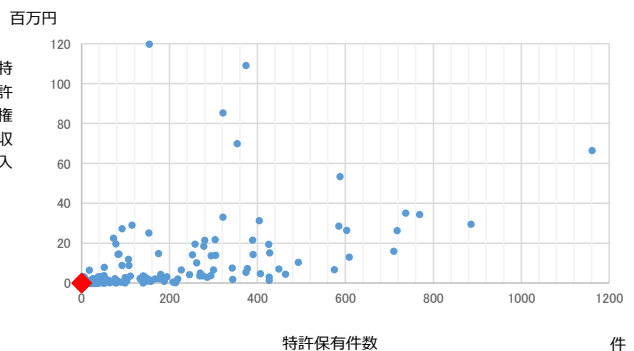
職務発明の帰属	大学	発明者
	未設定	研究者あたり
特許出願件数	0	0.000
特許保有件数	0	0.000

不実施補償の取扱
契約雛形の条項に従う
不実施補償を求めない場合がある
原則、不実施補償は求めない
その他

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	0	

出願数上位技術分野 (2018年公開)

順位	IPC	分野	件数



## その他の体制整備

URA		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

### 各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

### 産学連携へのインセンティブ

インセンティブ設計あり	インセンティブ設計なし
-------------	-------------

### クロスアポイントメントの実績（人）

	受入	派遣
大学・民間企業以外		
民間企業		

クロスアポ規定	有	無	企業とのクロスアポ	可能	不可
---------	---	---	-----------	----	----

### ■ 組織的産学連携活動の取組事例

### ■ 産学連携活動の主な実用化事例

## ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	社	インキュベーション施設	
相談窓口	支援ファンド	有	無
有	無	有	無
有	無	有	無
設立ポリシー・推進計画	支援総額（千円）	部屋数	件
有	無	利用件数	件

### 産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会:

イベント名	実施時期

### 組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した1000万円以上の共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

分野横断型共同研究	2	件	平均(目安)交渉期間	1ヶ月以上3ヶ月未満
-----------	---	---	------------	------------

## 基礎情報

大学の得意分野とその具体例

「健康社会の実現」の使命のもと、平成28～30年度私立大学ブランディング事業「北陸地方の生業研究と食文化を基盤とした健康と創薬イノベーション」に取組んだ。成果の一つとして骨のモデリングで特許出願している。

産学官連携活動において今後重点化したい事項

大学が有する人的・知的資源を地域の課題に役立てるため、地域から寄せられる情報や要望を整理し、企業や自治体やと協力し、地域・教職員・学生の三者をつなぐ役割を果たす。

運営費交付金  百万円  
 研究者数  名 実用化数  件

窓口 研究支援課  
 担当者 橋 伊勢子  
 TEL 076-229-1165  
 Email hu-kenkyu@hokuriku-u.ac.jp  
 産連HP <https://www.hokuriku-u.ac.jp/about/chiiki/>  
 シーズDB

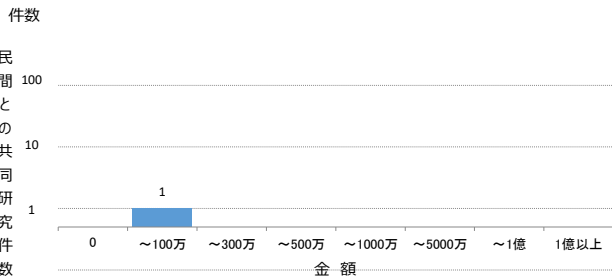
## 外部資金

科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
13,139 千円	11	2,500	5,853

間接経費割合		株式の保有		新株予約権の保有	
10%以上15%未満		有	無	有	無

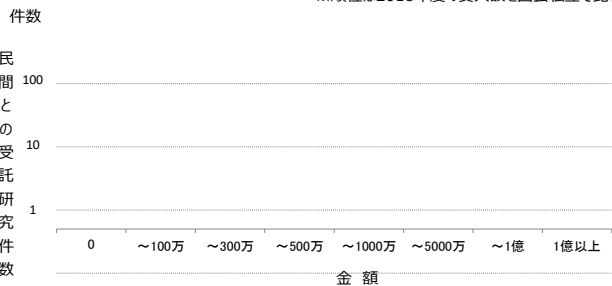
■ 共同研究	2017年度		2018年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	238	1	238	1	位
民間企業のみ	238	1	238	1	位
大企業	238	1	238	1	位
中小企業	0	0	0	0	位

※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの



■ 受託研究	2017年度		2018年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	920	3	1,000	2	位
民間企業のみ	0	0	0	0	位
大企業	0	0	0	0	位
中小企業	0	0	0	0	位

※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの



## 産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署		実務者当たり研究者数				
実務担当者数	3 名	41				
専門家の配置	弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他					

※専門家配置している場合は、赤色で表示されます。

産学連携業務分担	産連本部	他部署	外部委託
共同研究等の企画・提案			○
契約書での成果目標、達成時の明記		○	
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)		○	
共同研究の進捗管理とフィードバック			
企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

※該当する業務は、赤色で表示されます。

## 特許出願・活用実績

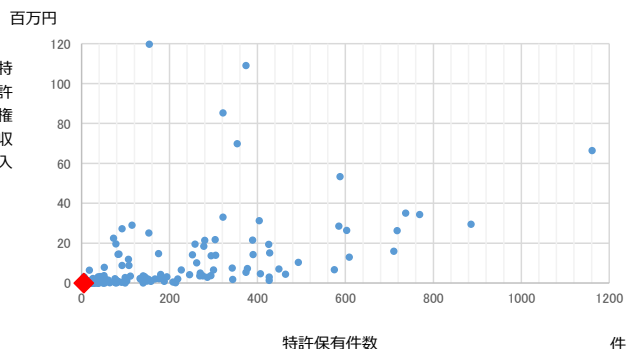
職務発明の帰属	大学	発明者
	未設定	
特許出願件数	1	0.008
特許保有件数	5	0.041

不実施補償の取扱	
契約雛形の条項に従う	
不実施補償を求めない場合がある	
原則、不実施補償は求めない	
その他	

特許権実施等件数	1	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	1	1.0

出願数上位技術分野 (2018年公開)

順位	IPC	分野	件数



## その他の体制整備

URA		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

### 各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程 (教職員のみ対象)
知的財産ポリシー	職務発明規程 (教職員、学生対象)
共同研究取扱規程	発明補償関係規程 (教職員のみ対象)
受託研究取扱規程	発明補償関係規程 (教職員、学生対象)
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程 (教職員のみ対象)
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程 (教職員、学生対象)
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

### 産学連携へのインセンティブ

インセンティブ設計あり	インセンティブ設計なし
-------------	-------------

### クロスアポイントメントの実績 (人)

	受入	派遣
大学・民間企業以外		
民間企業		

クローア規定	有	無	企業とのクローア	可能	不可
--------	---	---	----------	----	----

## ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	社	インキュベーション施設			
相談窓口	支援ファンド	有	無	部屋数	件
有	無	有	無	利用件数	件
設立ポリシー・推進計画	支援総額 (千円)				
有	無				

## 産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会:

イベント名	実施時期

## 組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した1000万円以上の共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

分野横断型共同研究	1	件	平均(目安)交渉期間	9ヶ月以上1年未満
-----------	---	---	------------	-----------

## ■ 組織的産学連携活動の取組事例

### 北陸大学 地域連携センター

**概要**

北陸大学は地域と大学と結ぶ窓口として、2014年に地域連携センターを設置し、地方自治体や地元企業、住民や小中学校・高校と様々な活動を実施してきた。その活動内容は、地域からの要望に応じて、地方自治体と連携したマラソン大会の運営・通訳ボランティア、小学校での国際交流活動のお手伝い、お祭りの企画から雪かきなど、多岐に渡り、今まで多くの教員や学生が活躍してきた。

大学発ベンチャー企業「サムライ金沢株式会社」は、石川県より「平成29年度いしかわ産業化資源活用推進事業ファンド事業」の採択を受け、事業展開しているほか、「忍者ハルクールin Kanazawa 2018」を開催し、金沢の魅力を全世界に発信する活動を行っている。

参考URL: <https://www.hokuriku-u.ac.jp/sptopics/201804131634.html>

地域連携センターは、地域活性化・地方創生のthink tankではなく、Do tankとして、地方や地域の行政や企業等と共に考えて、共に実現に向けて行動できるパートナーとなり、財政や人的資源に限られる中で、地方や地域の課題解決のために、大学が有する研究成果や知見、技術、問題発見・解決能力を持つプレインとしての知的・人的資源を活かしていくことを目指す。

**体制図等**

健康・医療・薬学  
スポーツ・ボランティア  
語学・観光・文化  
ビジネス 法律 国際情勢

地域連携 5つの領域

地域大学間 交流 高大連携

石川県農林研 富山県農研 金沢市 加賀市 輪島市 小矢野市 石川県臨床衛生検査技師会

金沢青年会議所 大学コンソーシアム石川 第六園観光協会 金沢市 加賀市 輪島市 小矢野市 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

## ■ 産学連携活動の主な実用化事例

### 健康維持に最適なバランスフード「シャカ茶々」

**概要**

この成果により解決が図られた現在社会が直面する課題

高齢化社会では、健康寿命の延伸が課題となっている。7大栄養素および骨に作用するフラボノイドやカルシウムを手軽に摂取できることにより、骨粗鬆症や生活習慣病の予防に貢献する。

・成果

手取川河川敷に自生する「カワラケツメイ」からフラボノイド配糖体(F2)を単離・同定し、F2が骨芽細胞と破骨細胞の分化を促進することを見出した。(特願2017-181670)(PCT/JP2018/34808)

・実用化まで至ったポイント、要因

カワラケツメイの茎や葉が健康茶などで親しまれていることに着目し、そこから植物由来成分であるフラボノイドの抽出に成功した。このフラボノイドは破骨細胞を抑制せず、骨芽・破骨の両細胞を活性化するため副作用はなく経口での投与が可能であることから開発した。

・研究開発のきっかけ

平成28年度私立大学研究ブランディング事業「北陸地方の生薬研究と食文化を基盤とした健康と創業イノベーション」選定により薬学部の研究成果を反映した健康食品の製品開発を行った。

・民間企業等から大学等に求められた事項

研究成果の正確なデータの提供。試作品の評価の提供。

・技術の新しい点、パフォーマンスの優位性

カワラケツメイに含有されるフラボノイドF2の特徴を生かすために、カルシウム成分の多い「桑の葉」栄養素の豊富な「麻の実」を配合。さらに不足成分を追加して総合栄養バランス食品とした。

**図・写真・データ**

北陸の薬草 温故知新。

ホクリクハーブスバランスフードを商品名「シャカ茶々」としても販売

商品名 「カワラケツメイ」は弘法大師が推奨し「麻の実」はお釈迦様が食したといわれ「桑の葉」は神仙茶と愛用されていることから命名

販売場所  
サムライ金沢株式会社(大学発ベンチャー企業)  
大口水産株式会社(地元企業)  
株式会社太陽アソシエイツ(大学内売店)

・ファンディング、表彰等  
・参考URL

## 基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金  百万円  
 研究者数  名 実用化数  件

窓口担当者  
 TEL  
 Email  
 産連HP  
 シーズDB

## 外部資金

科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
145,730	千円	91	32,385
			878,946

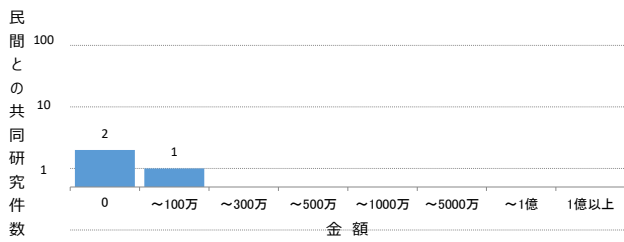
間接経費割合		株式の保有		新株予約権の保有	
間接経費の割合を定めていない		有	無	有	無

### 共同研究

	2017年度		2018年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	2,631	5	216	4	位
民間企業のみ	2,356	4	216	3	位
大企業	1,756	2	216	1	位
中小企業	600	2	0	2	位

※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの

件数

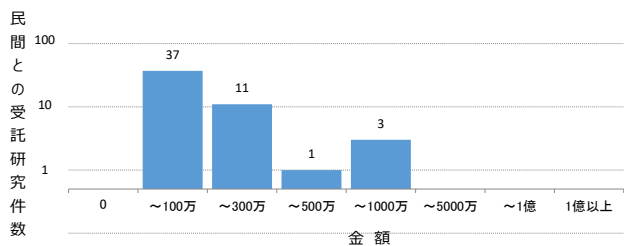


### 受託研究

	2017年度		2018年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	72,942	73	88,606	111	位
民間企業のみ	47,455	35	49,006	52	位
大企業	47,369	34	49,006	52	位
中小企業	86	1	0	0	位

※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの

件数



## 産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署		実務者当たり研究者数				
実務担当者数	4名	305				
専門家の配置	弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他					

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

産学連携業務担当	産連本部	他部署	外部委託
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)			
共同研究の進捗管理とフィードバック			
企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

※該当する業務は、赤色で表示されます。

## 特許出願・活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者
		未設定
特許出願件数	1	0.001
特許保有件数	2	0.002

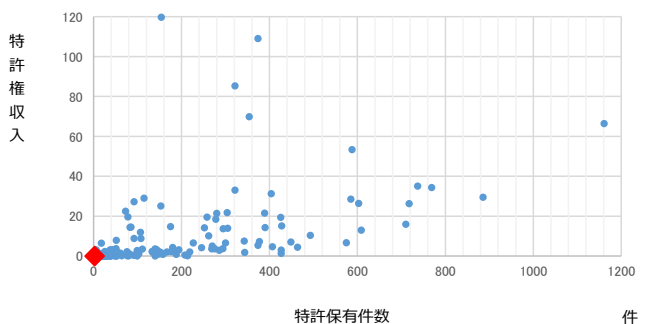
不実施補償の取扱
契約雛形の条項に従う
不実施補償を求めない場合がある
原則、不実施補償は求めない
その他

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	0	

出願数上位技術分野 (2018年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	A61	医学・獣医学; 衛生学	2
2	C12	生化学、微生物学、遺伝子工学等	2
3	A01	農業、林業、畜産、狩猟、捕獲、漁業	1

百万円



## その他の体制整備

U R A		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

### 各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

### 産学連携へのインセンティブ

インセンティブ設計あり	インセンティブ設計なし
-------------	-------------

### クロスアポイントメントの実績（人）

	受入	派遣
大学・民間企業以外		
民間企業		

クロスアポ規定	有	無	企業とのクロスアポ	可能	不可
---------	---	---	-----------	----	----

### ■ 組織的産学連携活動の取組事例

### ■ 産学連携活動の主な実用化事例

## ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	0	社	インキュベーション施設		
相談窓口		支援ファンド		有	無
有	無	有	無	部屋数	件
設立ポリシー・推進計画		支援総額（千円）		利用件数	件
有	無				

### 産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会:

イベント名	実施時期

### 組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

分野横断型共同研究	件	平均(目安)交渉期間
-----------	---	------------



## 基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金  百万円  
 研究者数  名 実用化数  件

窓口   
 担当者   
 TEL   
 Email   
 産連HP   
 シーズDB

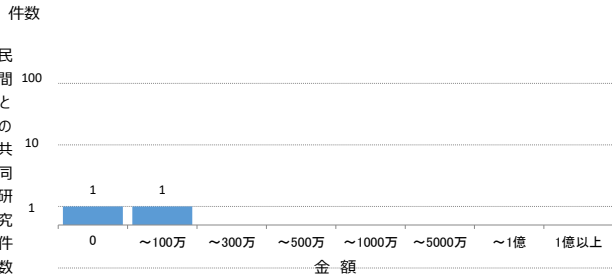
## 外部資金

科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
31,043	千円	20	0

間接経費割合		株式の保有		新株予約権の保有	
10%以上15%未満		有	無	有	無

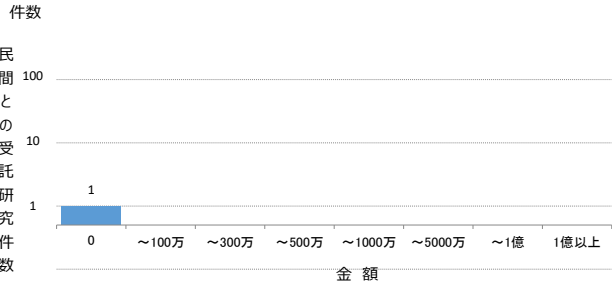
■ 共同研究	2017年度		2018年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	500	2	200	2	位
民間企業のみ	500	2	200	2	位
大企業	500	2	200	2	位
中小企業	0	0	0	0	位

※順位は2018年度の受入額を国公立で比較したもの



■ 受託研究	2017年度		2018年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	200	1	0	1	位
民間企業のみ	200	1	0	1	位
大企業	0	0	0	0	位
中小企業	200	1	0	1	位

※順位は2018年度の受入額を国公立で比較したもの



## 産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署		実務者当たり研究者数				
実務担当者数	5 名	33				
専門家の配置	弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他	

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

産学連携業務分担	産連本部	他部署	外部委託
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)	○		
共同研究の進捗管理とフィードバック			
企業ニーズに適合した技術移転・事業化提案			

※該当する業務は、赤色で表示されます。

## 特許出願・活用実績

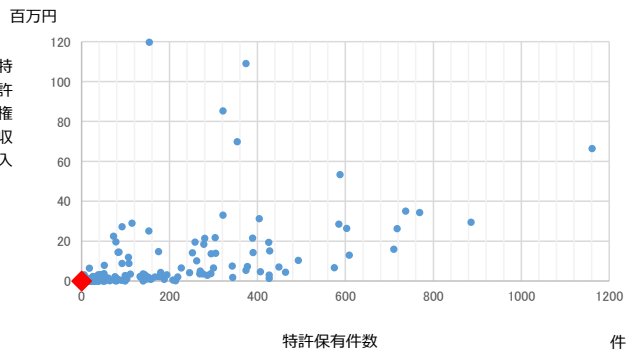
職務発明の帰属	大学	発明者
	未設定	
特許出願件数	0	0.000
特許保有件数	0	0.000

不実施補償の取扱
契約雛形の条項に従う
不実施補償を求めない場合がある
原則、不実施補償は求めない
その他

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	0	

出願数上位技術分野 (2018年公開)

順位	IPC	分野	件数



## その他の体制整備

U R A		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

### 各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

### 産学連携へのインセンティブ

インセンティブ設計あり	インセンティブ設計なし
-------------	-------------

### クロスアポイントメントの実績（人）

	受入	派遣
大学・民間企業以外		
民間企業		

クロスアポ規定	有	無	企業とのクロスアポ	可能	不可
---------	---	---	-----------	----	----

### ■ 組織的産学連携活動の取組事例

### ■ 産学連携活動の主な実用化事例

## ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	社	インキュベーション施設	
相談窓口	支援ファンド	有	無
有	無	有	無
有	無	有	無
設立ポリシー・推進計画	支援総額（千円）	部屋数	件
有	無	利用件数	件

### 産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会:

イベント名	実施時期
ひめじぐるめらんど	4月
国際フロンティア産業メッセ	9月
企業・大学・学生マッチング in Himeji	11月

### 組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した1000万円以上の共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

分野横断型共同研究	1	件	平均(目安)交渉期間	1ヶ月未満
-----------	---	---	------------	-------

私立 広島文教大学(広島文教女子大学)

基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金  百万円  
 研究者数  名 実用化数  件

窓口 学園統括部  
 担当者 山本 秀子  
 TEL 082-814-9992  
 Email sougou@h-bunkyo.ac.jp  
 産連HP   
 シーズDB

外部資金

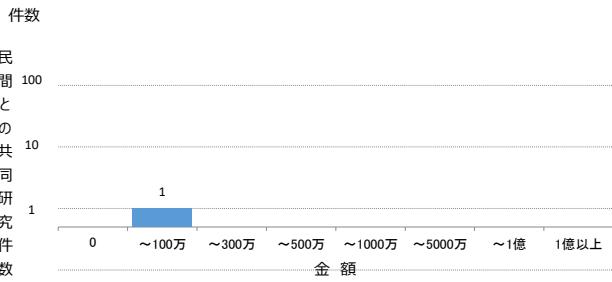
科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
1,950	千円	2	150

間接経費割合		株式の保有		新株予約権の保有	
間接経費の割合を定めていない		有	無	有	無

■共同研究

	2017年度		2018年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体			150	1	位
民間企業のみ			150	1	位
大企業			150	1	位
中小企業			0	0	位

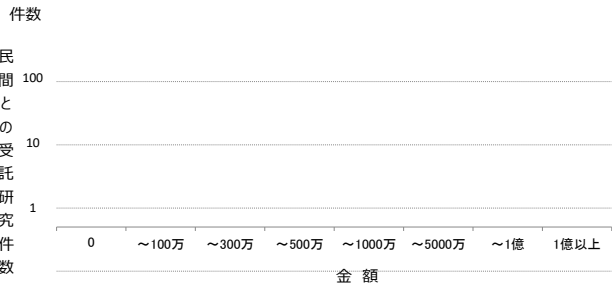
※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの



■受託研究

	2017年度		2018年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体			0	0	位
民間企業のみ			0	0	位
大企業			0	0	位
中小企業			0	0	位

※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの



産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署		実務者当たり研究者数				
実務担当者数	名					
専門家の配置	弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他					

※専門家配置している場合は、赤色で表示されます。

産学連携業務分担	産連本部	他部署	外部委託
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)			
共同研究の進捗管理とフィードバック			
企業ニーズに適合した技術移転・事業化提案			

※該当する業務は、赤色で表示されます。

特許出願・活用実績

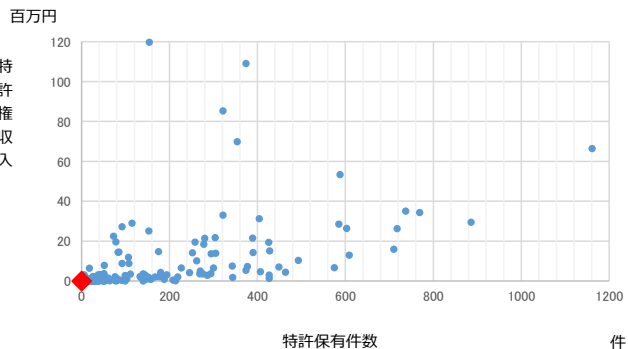
職務発明の帰属	大学	発明者
	未設定	研究者あたり
特許出願件数	0	0.000
特許保有件数	0	0.000

不実施補償の取扱
契約雛形の条項に従う
不実施補償を求めない場合がある
原則、不実施補償は求めない
その他

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	0	

出願数上位技術分野 (2018年公開)

順位	IPC	分野	件数



## その他の体制整備

U R A		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

### 各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

### 産学連携へのインセンティブ

インセンティブ設計あり	インセンティブ設計なし
-------------	-------------

### クロスアポイントメントの実績（人）

	受入	派遣
大学・民間企業以外		
民間企業		

クロスアポ規定	有	無	企業とのクロスアポ	可能	不可
---------	---	---	-----------	----	----

### ■ 組織的産学連携活動の取組事例

### ■ 産学連携活動の主な実用化事例

## ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	社	インキュベーション施設	
相談窓口	支援ファンド	有	無
有	無	有	無
有	無	有	無
設立ポリシー・推進計画	支援総額（千円）	部屋数	件
有	無	利用件数	件

### 産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会:

イベント名	実施時期

### 組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した1000万円以上の共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

分野横断型共同研究	0	件	平均(目安)交渉期間	1ヶ月以上3ヶ月未満
-----------	---	---	------------	------------

## 基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金  百万円  
 研究者数  名 実用化数  件

窓口担当者 TEL Email 産連HP シーズDB


## 外部資金

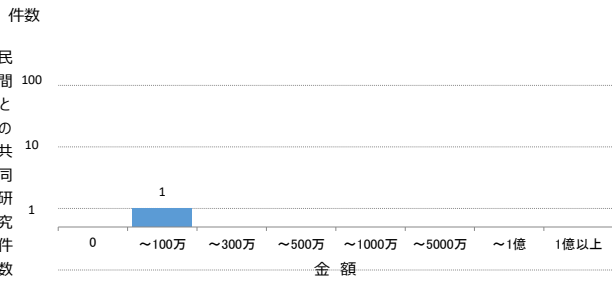
科研費		金額 (千円)	件数	その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数				
40,160	千円	27	6,689	7,608	

間接経費割合		株式の保有		新株予約権の保有	
10%以上15%未満		有	無	有	無

■ 共同研究

	2017年度		2018年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体			100	1	位
民間企業のみ			100	1	位
大企業			0	0	位
中小企業			100	1	位

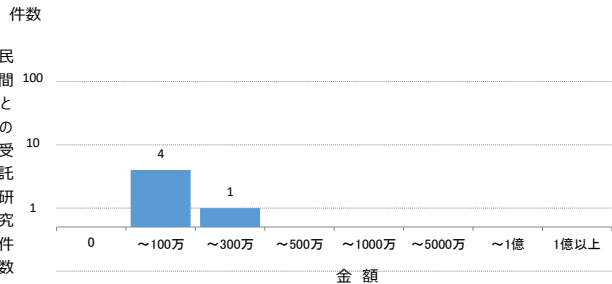
※順位は2018年度の受入額を国公立で比較したもの



■ 受託研究

	2017年度		2018年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	11,668	10	7,910	10	位
民間企業のみ	4,739	4	1,980	5	位
大企業	2,834	1	850	3	位
中小企業	1,905	3	1,130	2	位

※順位は2018年度の受入額を国公立で比較したもの



## 産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署		実務者当たり研究者数				
実務担当者数	0 名					
専門家の配置	弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他					

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

産学連携業務担当	産連本部	他部署	外部委託
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)			
共同研究の進捗管理とフィードバック			
企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

※該当する業務は、赤色で表示されます。

## 特許出願・活用実績

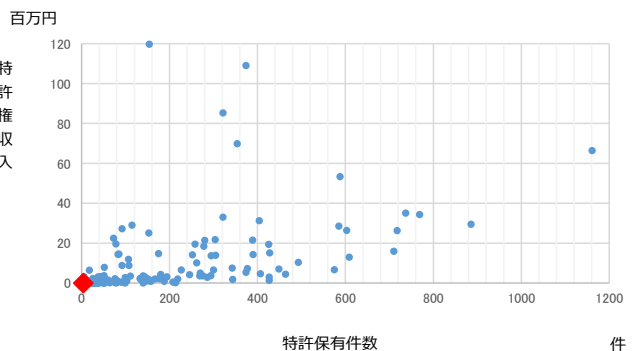
職務発明の帰属	大学	発明者
	未設定	研究者あたり
特許出願件数	0	0.000
特許保有件数	4	0.024

不実施補償の取扱
契約雛形の条項に従う
不実施補償を求めない場合がある
原則、不実施補償は求めない
その他

特許権実施等件数	1	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	0	0.0

出願数上位技術分野 (2018年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	G01	測定、試験	2
2	A61	医学・獣医学; 衛生学	1



## その他の体制整備

U R A		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

### 各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

### 産学連携へのインセンティブ

インセンティブ設計あり	インセンティブ設計なし
-------------	-------------

### クロスアポイントメントの実績（人）

	受入	派遣
大学・民間企業以外		
民間企業		

クロスアポ規定	有	無	企業とのクロスアポ	可能	不可
---------	---	---	-----------	----	----

### ■ 組織的産学連携活動の取組事例

### ■ 産学連携活動の主な実用化事例

## ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	0	社	インキュベーション施設		
相談窓口		支援ファンド		有	無
有	無	有	無	部屋数	件
設立ポリシー・推進計画		支援総額（千円）		利用件数	件
有	無				

### 産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会:

イベント名	実施時期

### 組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

分野横断型共同研究	件	平均(目安)交渉期間
-----------	---	------------

## 基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金  百万円  
 研究者数  名 実用化数  件

窓口 学術文化部  
 担当者 東 勇一  
 TEL 096-364-5161  
 Email kodo-shien@kumagaku.ac.jp  
 産連HP <http://www1.kumagaku.ac.jp/office/gakubun/>  
 シーズDB <http://svoseki.kumagaku.ac.jp/>

## 外部資金

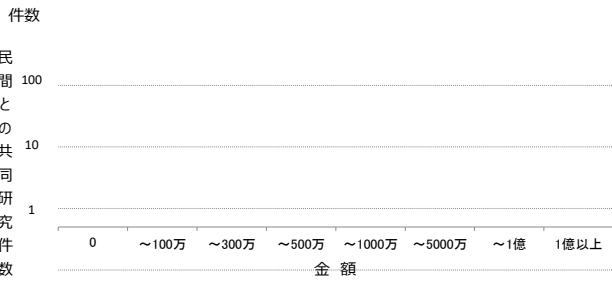
科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
千円			0

間接経費割合		株式の保有		新株予約権の保有	
間接経費の割合を定めていない		有	無	有	無

■ 共同研究

	2017年度		2018年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	100	1	100	1	位
民間企業のみ	0	0			位
大企業	0	0			位
中小企業	0	0			位

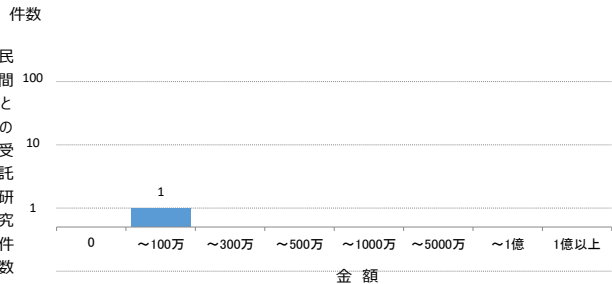
※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの



■ 受託研究

	2017年度		2018年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	200	1	1,610	2	位
民間企業のみ	200	1	200	1	位
大企業	0	0	0	0	位
中小企業	200	1	200	1	位

※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの



## 産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署		実務者当たり研究者数				
実務担当者数	名					
専門家の配置		弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

産学連携業務分担	産連本部	他部署	外部委託
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)			
共同研究の進捗管理とフィードバック		○	
企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

※該当する業務は、赤色で表示されます。

## 特許出願・活用実績

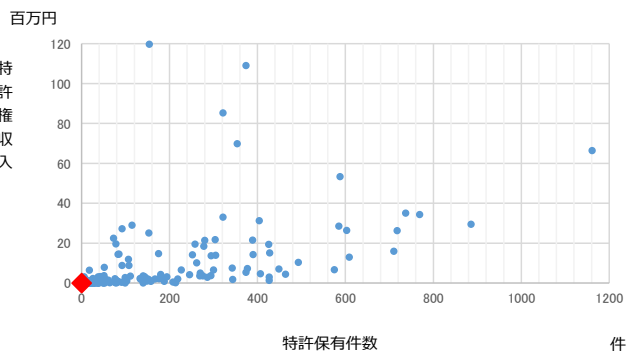
職務発明の帰属	大学	発明者
	未設定	研究者あたり
特許出願件数	0	0.000
特許保有件数	0	0.000

不実施補償の取扱
契約雛形の条項に従う
不実施補償を求めない場合がある
原則、不実施補償は求めない
その他

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	0	

出願数上位技術分野 (2018年公開)

順位	IPC	分野	件数



## その他の体制整備

URA		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

### 各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

### 産学連携へのインセンティブ

インセンティブ設計あり	インセンティブ設計なし
-------------	-------------

### クロスアポイントメントの実績（人）

	受入	派遣
大学・民間企業以外		
民間企業		

クロスアポ規定	有	無	企業とのクロスアポ	可能	不可
---------	---	---	-----------	----	----

### ■ 組織的産学連携活動の取組事例

### ■ 産学連携活動の主な実用化事例

## ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	0	社	インキュベーション施設		
相談窓口		支援ファンド		有	無
有	無	有	無	部屋数	件
設立ポリシー・推進計画		支援総額（千円）		利用件数	
有	無			件	

### 産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会:

イベント名	実施時期

### 組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した1000万円以上の共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

分野横断型共同研究	0	件	平均(目安)交渉期間	
-----------	---	---	------------	--



## 基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金  百万円  
 研究者数  名 実用化数  件

窓口 総務課  
 担当者 眞崎 奈津美  
 TEL 0952-37-9204  
 Email syomu@niskyu-u.ac.jp  
 産連HP <https://www.niskyu-u.ac.jp/extension/>  
 シーズDB <http://er.niskyu-u.ac.jp/>

## 外部資金

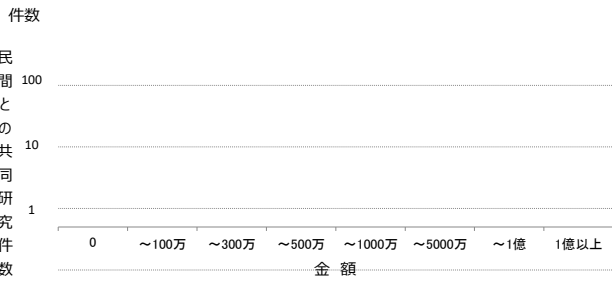
科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
28,124	千円	21	50
			3,370

間接経費割合		株式の保有		新株予約権の保有	
間接経費の割合を定めていない		有	無	有	無

■ 共同研究

	2017年度		2018年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	50	1	50	1	位
民間企業のみ	0	0			位
大企業	0	0			位
中小企業	0	0			位

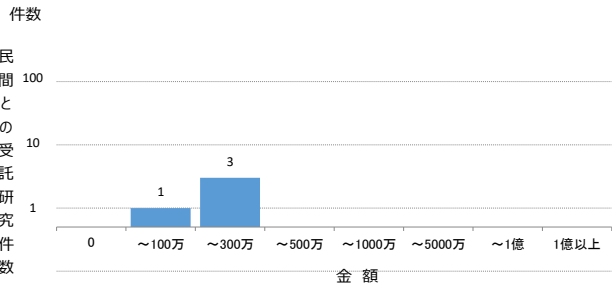
※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの



■ 受託研究

	2017年度		2018年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	3,410	3	6,380	4	位
民間企業のみ	1,410	2	6,380	4	位
大企業	1,300	1	1,480	1	位
中小企業	110	1	4,900	3	位

※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの



## 産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署		実務者当たり研究者数				
実務担当者数	0 名					
専門家の配置	弁護士 弁理士 税理士 公認会計士 その他					

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

産学連携業務分担	産連本部	他部署	外部委託
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記			
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)		○	
共同研究の進捗管理とフィードバック		○	
企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

※該当する業務は、赤色で表示されます。

## 特許出願・活用実績

職務発明の帰属	大学	発明者
	未設定	
特許出願件数	0	0.000
特許保有件数	2	0.016

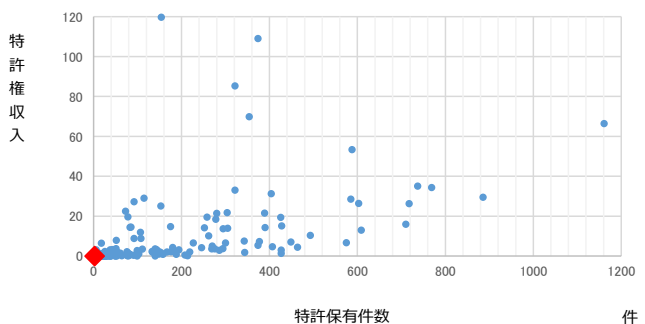
不実施補償の取扱
契約雛形の条項に従う
不実施補償を求めない場合がある
原則、不実施補償は求めない
その他

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	0	

出願数上位技術分野 (2018年公開)

順位	IPC	分野	件数
1	G06	計算、計数	1

百万円



## その他の体制整備

URA		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

産学連携へのインセンティブ

インセンティブ設計あり	インセンティブ設計なし
-------------	-------------

クロスアポイントメントの実績（人）

	受入	派遣
大学・民間企業以外		
民間企業		

クロスアポ規定	有	無	企業とのクロスアポ	可能	不可
---------	---	---	-----------	----	----

### ■ 組織的産学連携活動の取組事例

### ■ 産学連携活動の主な実用化事例

## ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	社	インキュベーション施設	
相談窓口	支援ファンド	有	無
有	無	有	無
有	無	有	無
設立ポリシー・推進計画	支援総額（千円）	部屋数	件
有	無	利用件数	件
有	無		

### 産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会:

イベント名	実施時期

### 組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した1000万円以上の共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

分野横断型共同研究	4	件	平均(目安)交渉期間	1ヶ月以上3ヶ月未満
-----------	---	---	------------	------------

## 基礎情報

大学の得意分野とその具体例

--

産学官連携活動において今後重点化したい事項

--

運営費交付金  百万円  
 研究者数  名 実用化数  件

窓口   
 担当者   
 TEL   
 Email   
 産連HP   
 シーズDB

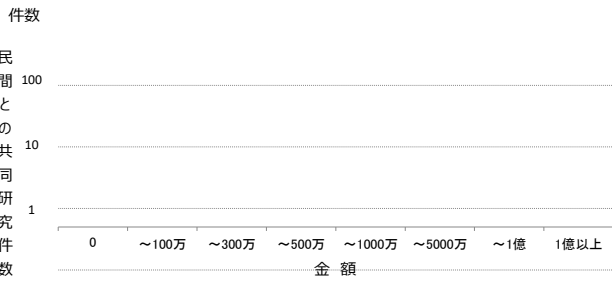
## 外部資金

科研費		その他政府系資金 (千円)	民間資金 (千円)
金額	件数		
4,420 千円	4	0	802

間接経費割合		株式の保有		新株予約権の保有	
間接経費の割合を定めていない		有	無	有	無

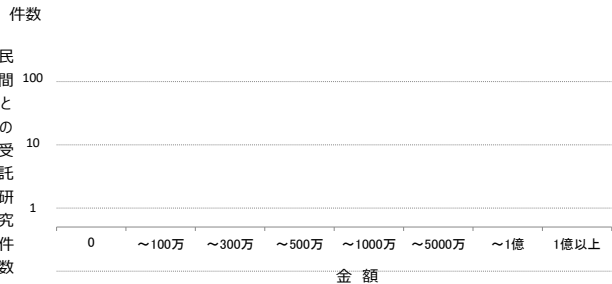
■ 共同研究	2017年度		2018年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体			0	0	位
民間企業のみ					位
大企業					位
中小企業					位

※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの



■ 受託研究	2017年度		2018年度		順位※
	受入額 (千円)	件数	受入額 (千円)	件数	
全体	2,213	8	802	3	位
民間企業のみ	100	1	0	0	位
大企業	0	0	0	0	位
中小企業	100	1	0	0	位

※順位は2018年度の受入額を国公私立で比較したもの



## 産学連携担当部署の体制

産学連携担当部署		実務者当たり研究者数				
実務担当者数	名					
専門家の配置		弁護士	弁理士	税理士	公認会計士	その他

※専門家を配置している場合は、赤色で表示されます。

産学連携業務分担	産連本部	他部署	外部委託
共同研究等の企画・提案			
契約書での成果目標、達成時の明記	○		
共同研究契約の締結/判断 (契約権限の集中)	○		
共同研究の進捗管理とフィードバック	○		
企業ニーズに適応した技術移転・事業化提案			

※該当する業務は、赤色で表示されます。

## 特許出願・活用実績

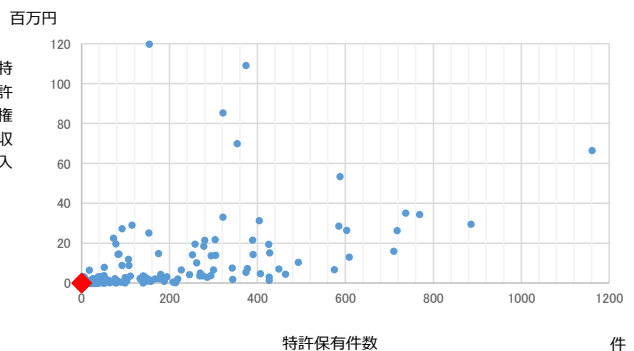
職務発明の帰属	大学	発明者
	未設定	
特許出願件数	0	0.000
特許保有件数	0	0.000

不実施補償の取扱
契約雛形の条項に従う
不実施補償を求めない場合がある
原則、不実施補償は求めない
その他

特許権実施等件数	0	実施等件数あたり
特許権実施等収入 (千円)	0	

出願数上位技術分野 (2018年公開)

順位	IPC	分野	件数



## その他の体制整備

U R A		URA当たり研究者数
実務担当者数	0	名

### 各種規程類の整備状況

産学連携ポリシー	職務発明規程（教職員のみ対象）
知的財産ポリシー	職務発明規程（教職員、学生対象）
共同研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員のみ対象）
受託研究取扱規程	発明補償関係規程（教職員、学生対象）
研究成果有体物取扱規程	守秘義務に係る規程（教職員のみ対象）
営業秘密管理に関する規程	守秘義務に係る規程（教職員、学生対象）
株式の取扱等規程、ポリシー	

※各種規定類を整備している場合は、赤色で表示されます。

### 産学連携へのインセンティブ

インセンティブ設計あり	インセンティブ設計なし
-------------	-------------

### クロスアポイントメントの実績（人）

	受入	派遣
大学・民間企業以外		
民間企業		

クロスアポ規定	有	無	企業とのクロスアポ	可能	不可
---------	---	---	-----------	----	----

### ■ 組織的産学連携活動の取組事例

### ■ 産学連携活動の主な実用化事例

## ベンチャー支援体制

大学発ベンチャー数	0	社	インキュベーション施設		
相談窓口		支援ファンド		有	無
有	無	有	無	部屋数	件
設立ポリシー・推進計画		支援総額（千円）		利用件数	
有	無			件	

### 産学官連携を目的とした主なイベント・外部の展示会:

イベント名	実施時期

### 組織的産学連携活動

産学連携本部が関与した1000万円以上の共同研究	0	件
内、マッチングを行い、契約締結した件数	0	件

分野横断型共同研究	2	件	平均(目安)交渉期間	1ヶ月以上3ヶ月未満
-----------	---	---	------------	------------